

平成25年度学校評価の実施状況等調査

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	3	1	57	5	15	82

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	16	0				21

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	16	172	0				188

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 平成24年度の学校評価を踏まえ、平成25年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①進路決定率のさらなるアップのため組織的な進路指導を行った。
②中農便りを毎月発行し情報発信に努めた。
③早朝講座の実施や学科の特色を活かした講座の開設を行った。
④学校案内を充実させ、学校説明会、体験入学など募集部を中心に重点的に行った。
⑤農業祭など地域に開かれた行事として心掛け、対外的行事にも積極的に参加した。

6 平成25年度の学校評価で明らかになった課題

①園芸講座等、学校の特色を活かした講座の地域開放を行う。
②挨拶が出来る生徒が増えた。FFJ大会に向けての定着指導。
③問題行動を繰り返し起こす生徒への指導体制の確立とその対応。
④生徒が気軽に意見や悩みを言える環境作りと教育相談の充実。
⑤定時制生徒への進学指導の強化。

7 平成25年度の学校評価を活かした平成26年度の改善点

①FFJ大会に向けた「オアシス運動」(礼儀、心構えなど)を徹底させる。
②PTA活動の活性化を図り、会員相互の連携を密にした運営に努める。
③楽しい授業の構築に努め、思考力・表現力を高めていくための教材研究を行う。
④専門教科の課題研究等で地域の素材を利用した活動事例をさらに探求する。